

ではなかった。その後、経済情勢などが変わり、大きな地震もあった。大きな地震が起これば、現庁舎はもたない。現在ベストな方法で、できるだけ早急迅速に、新たな庁舎機能含む複合施設を建てたい。

問 平成20年以降、全国で市庁舎の建設基本計画及び案を策定している市は40市以上あるが、すべて基本計画を策定している。通常は基本計画の策定委員会を設け、会議を重ね基本計画を練り上げる。市庁舎の建設の基本構想があり、そして基本計画があるわけで、市民に対し基本計画案を発表し、パブリックコメントを行い市民の意見を聞き基本計画を策定するのが手順であり、常道である。常道から本市は逸脱しているのでは。いつ市民に対し市庁舎の建設の計画を公表するのか。また、パブリックコメントについてはどうするのか。

答 基本構想を作成の際に、市民アンケートは実施している。どこが庁舎に適しているかについては、一番は現庁舎場所であり、1,100坪の場所は△印であったが、総意として八木駅周辺でというこ

とであったので、市民の考えとしては認められていると思っている。計画については、議会への説明不足は認めるが、市有地活用事業検討の予算等、施政方針、後期基本計画において周知している。事業のスケジュールとしては、平成26年3月に実施方針を公表し、これが基本計画に代わると考えており、議会の債務負担行為の議決を得たいと思っている。そして26年5月に特定事業の選定を行い、6月に募集要綱を公表し12月に優先交渉権者の決定を行い、27年3月議会で議決を得て事業契約を結びたいと考えている。

問 基本構想作成時にパブリックコメントを実施したというが、構想から180度転換しているのにパブリックコメントを実施したというのは通用しない。普通、基本計画案を策定してから市民から意見をもらうのではないのか。

答 基本構想から180度転換したとは思っていない。調査を行うアドバイザー業務の中で、市民の意見も取り入れた。

問 アドバイザリー業務の中で市民の意見を取り入れると

いうことはどういうことか。
答 アドバイザリー業務として今年度予算3,150万円があり、この中で庁舎機能や市民ニーズについて調べる予定である。

問 市民の意見がどれだけ聞けるのか信用できない。市庁舎の規模についても発言がころろ変わり信用できない。昨日、庁舎に関する質問に対し市長は、建物から入るつもりはないという答弁をしていたが、建物の話で建物から入らなかったらどこから入るのか。税金を使って建てる一大事業を市民にいつ公表するのか。市長の考えを聞きたい。

答 計画からは全くずれていない。このまちをどのように保ち発展させるのかという考えの中に庁舎がある。平成19年の当時、現庁舎場所での建て替えは、仮庁舎も含め100億円かかるといわれていた。建て替えは厳しく、その時も郊外型の庁舎という話はあった。その後、リーマンショックが起これ、八木駅前からスーパーや百貨店が撤退するのでは、そして駅前が空洞化するのではという不安もあったが、百貨店は撤退しないとい

う約束はしてもらった。駅前のごとも考え、1,100坪の利用を考えながら検討している。現庁舎場所あるいは1,100坪で全て建て替えるという選択肢もまだある。1,100坪に建てるとしても、ホテル部分の規模等もあり、どれぐらいの㎡数になるのか現段階で出せない。いろんな選択肢の中で考えたい。

問 市庁舎の、本市にとっての位置付けは。

答 地方自治体の中枢部分を占める位置、また建物である。この中で一つの地方自治体の動きを決めていく。そのためにある建物、また行政機構の拠点だと認識している。



八木駅南 1,100坪

一般質問
細川 佳秀
(自民・真政会)

市庁舎建設事業と近鉄八木駅を中心としたまちづくり

問 市庁舎の、本市にとっての位置付けは。

答 機運が盛り上がってこない、土地の問題、買収の問題は進んでいかない。そういうこともあり、延び延びになつてきたというのが現状である。

問 昨年12月にマスコミ等で市庁舎の一部が1,100坪の市有地に移転するという報道もされたが、議会には何の

現在165号線の拡幅工事が進んでいるが、新たな民家が建ち始めている。なぜ南側用地の買収の交渉を継続して進めなかったのか。